

令和3年4月 鳥取県中小企業団体中央会情報連絡員報告

長引くコロナ禍、県内景況先行き不透明

新型コロナ変異株、新規感染者拡大が経済活動を阻害

～景況 DI 値は、前年同月比 10.5 ポイント上昇のマイナス 26.3～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 4月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比 57.9 ポイント低下のマイナス 26.3、前年同月比 5.3 ポイント上昇のマイナス 10.5。非製造業では、前月比 26.3 ポイント低下のプラスマイナス 0、前年同月比 52.6 ポイント上昇のプラス 10.5。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比 5.2 ポイント低下のプラス 21.1、前年同月比 10.5 ポイント上昇のプラス 10.5。非製造業では、DI 値前月比同水準のマイナス 10.5、前年同月比 10.5 ポイント上昇のマイナス 15.8。

収益状況 製造業では、DI 値前月比 36.8 ポイント低下のマイナス 26.3、前年同月比同水準のマイナス 15.8。非製造業では、前月比 20.9 ポイント低下のマイナス 20.9、前年同月比 21.0 ポイント上昇のマイナス 10.5。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比 0.3 ポイント低下のプラス 10.2、前年同月比同水準のマイナス 15.8。非製造業では、前月比 5.3 ポイント上昇のマイナス 15.8、前年同月比 31.6 ポイント上昇のマイナス 21.1。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比 5.3 ポイント低下のプラス 5.2、前年同月比 5.3 ポイント低下のマイナス 5.3。非製造業では、前月比 15.7 ポイント低下のマイナス 10.5、前年同月比 10.4 ポイント上昇のマイナス 10.6。

景況 製造業では、DI 値前月比 15.8 ポイント低下のマイナス 26.3、前年同月比 5.3 ポイント上昇のマイナス 21.0。非製造業では、前月比 10.5 ポイント低下のマイナス 36.8、前年同月比 15.9 ポイント上昇のマイナス 31.5。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比 13.1 ポイント低下のマイナス 31.5、前年同月比 10.5 ポイント上昇のマイナス 26.3 となった。製造業では、コロナ禍による売上減少等回復の兆しはなく、繊維工業、金属製品などでは雇用調整助成金により雇用を維持している状況。非製造業では、首都圏等の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により、旅館・観光関連は予約状況が低迷、大型連休前半も低調に終わっている。景況 DI 値は上昇傾向にあるも、昨年は第1回緊急事態宣言下であり、コロナ禍の長期化による影響が続いている。新型コロナ変異株の脅威、新規感染者拡大が経済活動を阻害しており、県内景況の先行きは不透明。

2. 企業倒産（㈱帝国データバンク調べ）

4月の全国倒産は、件数489件で、4月としては過去最少となった。負債総額は799億9,000万円（負債総額1,000万円以上）で、3カ月ぶりの前年同月比減少となった。不況型倒産の合計は37件、負債規模別では、負債5,000万円未満の倒産は297件となった。

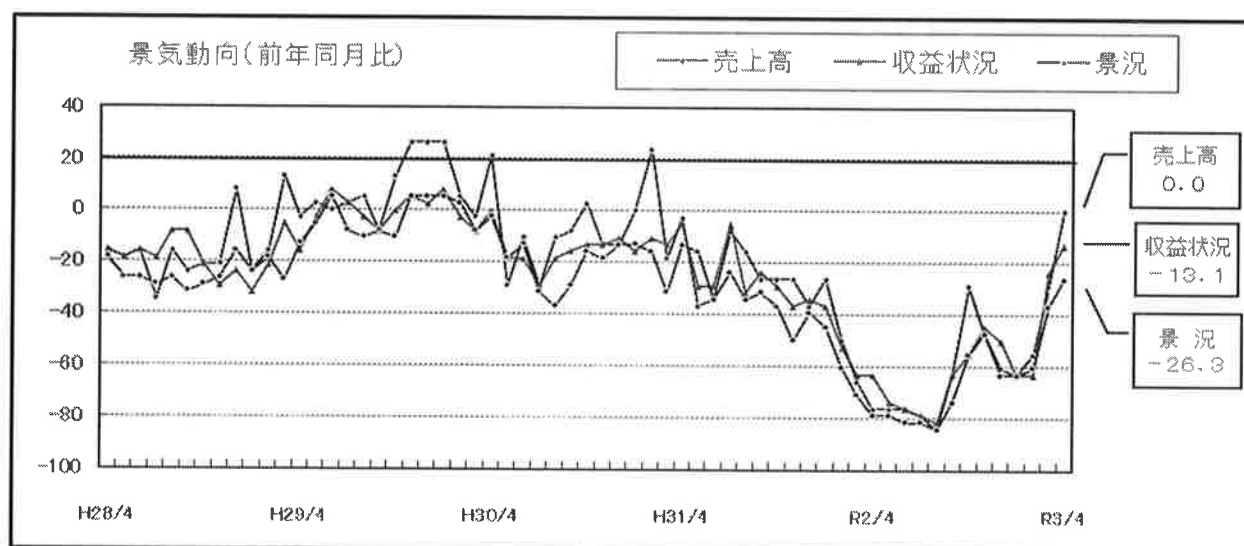
一方、4月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数1件（前月2件）、負債総額は3億円（前月1億8,300万円）で、業種では、卸売業、主因は販売不振となっている。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報3月分」）

鳥取県の3月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.30倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.10倍）で、前月より0.04ポイント上昇した。各所別有効求人倍率では、鳥取所1.21倍、米子所1.32倍、倉吉所1.39倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.36倍（季節調整値）で、前月より0.14ポイント上昇した。

新規求人数は、前年同月比8.7%増加し、有効求人数は6.3%の減少となった。産業別に前年同月と比較すると、建設業（25.3%）、宿泊業・飲食サービス業（16.6%）、サービス業（15.3%）、医療・福祉（11.3%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比4.9%増加し、有効求職者数は7.9%増加した。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.31倍で、前年同月を0.32ポイント下回った。新規求人数は前年同月を6.9%上回った。



4月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	21.1%	47.4%	-26.3 -57.9	42.1%	42.1%	0.0 -26.3	31.6%	44.7%	-13.1 -42.1
(2) 在庫数量	21.1%	10.5%	10.6 5.4	16.7%	8.3%	8.4 8.3	19.4%	9.7%	9.7 6.5
(3) 販売価格	21.1%	0.0%	21.1 -5.2	5.3%	15.8%	-10.5 0.0	13.2%	7.9%	5.3 -2.6
(4) 取引条件	10.5%	0.0%	10.5 0.0	0.0%	10.5%	-10.5 5.3	5.3%	5.3%	0.0 2.6
(5) 収益状況	10.5%	36.8%	-26.3 -36.8	21.1%	42.1%	-20.9 -20.9	15.8%	39.5%	-23.7 -28.9
(6) 資金繰り	10.5%	5.3%	10.2 -0.3	10.5%	26.3%	-15.8 5.3	10.5%	15.8%	-5.3 0.0
(7) 設備操業度	15.8%	21.1%	-5.3 -26.3						
(8) 雇用人員	10.5%	5.3%	5.2 -5.3	0.0%	10.5%	-10.5 -15.7	5.3%	7.9%	-2.6 -10.5
(9) 景 況	5.3%	31.6%	-26.3 -15.8	5.3%	42.1%	-36.8 -10.5	5.3%	36.8%	-31.5 -13.1

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	26.3%	36.8%	-10.5 5.3	52.6%	42.1%	10.5 52.6	39.5%	39.5%	0.0 29.0
(2) 在庫数量	21.1%	10.5%	10.6 26.4	16.7%	25.0%	-8.3 25.1	19.4%	16.1%	3.3 25.8
(3) 販売価格	15.8%	5.3%	10.5 10.5	10.5%	26.3%	-15.8 10.5	13.2%	15.8%	-2.6 10.5
(4) 取引条件	10.5%	0.0%	10.5 10.5	0.0%	10.5%	-10.5 10.6	5.3%	5.3%	0.0 10.5
(5) 収益状況	26.3%	42.1%	-15.8 0.0	21.1%	31.6%	-10.5 21.0	23.7%	36.8%	-13.1 10.6
(6) 資金繰り	10.5%	26.3%	-15.8 0.0	10.5%	31.6%	-21.1 31.6	10.5%	28.9%	-18.4 15.8
(7) 設備操業度	15.8%	26.3%	-10.5 10.5						
(8) 雇用人員	10.5%	15.8%	-5.3 -5.3	10.5%	21.1%	-10.6 10.4	10.5%	18.4%	-7.9 2.6
(9) 景 況	15.8%	36.8%	-21.0 5.3	5.3%	36.8%	-31.5 15.9	10.5%	36.8%	-26.3 10.5

* D I とは、ディフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

* D I 欄下段は、今月調査 D I（上段）から前月調査 D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ドラッグストア向け業者は好調を維持しており、一部では人手不足感もみられる。一方、観光向け業者は、従業員の一時帰休を行うなど、依然として厳しい状況。

醬 油⇒ コロナ禍により自粛ムードが強まるなか、業務用や土産用の商品が落ち込んでいる。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 婦人服では、首都圏等への緊急事態宣言の影響は大きく、目の前の仕事は何とか確保できるが、先行きが見えない状況。座席シート縫製では、自動車用半導体不足により、国内では自動車の製造自体が減産となっているため、自動車用シートの発注数も少傾向が続いており、いつ通常生産に回復するか不透明感が続いている。

ニット製品⇒ 受注及び生産状況は回復の兆しはなく、雇用調整助成金等で雇用を維持しているが、今後の見通しは不透明。

【家具・装飾品】

⇒ 売上高は、前月比、前年同月比ともに不変。リビング関連の高級品も一服感が見られる。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量はともに前月比で増加。合板の生産量も前月比で増加。外材製材品の供給不足から国産材製材品価格が高騰。原木の引き合いも強く、価格も大きく値を上げてきている。プレカット加工の稼働率は、前月比20%減少、前年同月比40%増加。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 和紙は年度初めの需要品として多少動いているが、緊急事態宣言の影響もあり、コロナ前の50～70%程度の売上しかない。

【印刷】

⇒ コロナ禍によるイベントや事業等の中止又は延長は今のところないが、新型コロナ感染拡大に伴い警戒感が広まっており、今後に影響することが懸念される。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 4月の生コン出荷量は、前月比7%増加、前年同月比1%減少。4月は、東部・中部では大型物件が少なく、西部では道路関係・防衛省関連・バイオマス発電などの物件があり活発であったが、全体を押し上げるほどにはならなかった。県内では、需要の大幅な減少により、生産設備の集約化を進めており、東部地区で製造委託工場を開始している。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、東部・中部は地元物件が少なく、受注競争が厳しくなっている。元請けの受注競争もあり、収益面での影響も厳しい。機械加工は、得意先の休業による雇用調整助成金申請が続いているが、徐々に仕事は戻ってきている。半導体部品の供給不足により、自動車メーカーが減産を余儀なくされ影響を受けている。

鉄骨加工⇒ 鋼材の値上げについて、電炉メーカーは一服感が出たが、高炉メーカーの価格上昇は現在も続いている。各社の山積み不足も解消には至っておらず、ゼネコンの受注競争で低価格になった案件も受注せざるを得ず、利益確保ができない。また都市部での大規模開発物件が夏からスタートするため大型コラムや外法H鋼の納期が4～5カ月と伸びてきており短工期物件においての材料調達に今後は大きく影響が出てくる。

金属熱処理⇒ 3月の受注量が非常に大きかったこともり、4月は減少。依然好調を維持しているが、エネルギー関係の事業所では、大手重工メーカーとの競合により30%以上の受注減となった。前年同期比では、コロナ禍の影響が出始めており、生産調整を開始する事業所が多かったため受注が急激に減少した。それ以外は明らかに回復基調であり、過去最高の発注をしている事業所もある。

【電気機械器具】

⇒ コロナ禍のリモート関係機器は依然好調。車載関係は部材調達の影響が出ている。受注は増加傾向だが年度初めも部材調達の影響を懸念している。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 良い業種と悪い業種が明確に分かれている。青果関係では、売上高は前月比で増加、前年同月比で減少。コロナ禍による影響が長引けば、外食産業含め、全体の消費が伸びないこともあり市場の流通に大きく影響してくる。鮮魚関係では、売上高は前月比で減少、前年同月比で増加。コロナ禍の影響によりサービス業等の低迷が大きく影響している。

中部地区⇒ 売上高は前月比、前年同月比ともに増加。事務機器関連で年度末に絡む納品が多く多忙であったが、繁忙期後の落ち込みが懸念される。

西部地区⇒ 一部で新型コロナ感染防止対策等から売上の回復は鈍い。デパートや飲食店を取引先とする一部事業所も同様な状況。

水産物⇒ 巻網漁は小型イワシ中心の水揚げが続くも食用・缶詰原料となる大中型イワシの割合は僅かであり大半は養殖魚の餌料向けとなった。近海はハタハタ・カレイ類の水揚げが順調であるものの、干し物等の原料向けの動きが鈍い。紅ズワイガニはコロナ慣れのためか昨年みられた相場の乱高下もなく一貫して安値安定で推移した。

リサイクル原料⇒ 国内鉄スクラップ市況は、市中スクラップ荷動きの鈍化、鉄鉱石や原料炭の高止まりなど世界的な原料高の状況が続き、鉄スクラップ相場も堅調さを維持している。古紙相場は安値修正の動きが見られる。非鉄市況は、銅、アルミ、ステンレスともに建値が一段高になった。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取市の商店街では、去年はコロナ禍でひどい状況だったので、売上は昨年よりは回復しているところはあるが、収益状況は厳しい。飲食関係は軒並み夜が苦戦している。昼間の営業は多少戻っている。小売りも一部高額品が動いているが基本的に消費が落ちている。駅周辺は観光客もまばらで土日は閑散としている。

中 部 地 区⇒ 倉吉市の商店街では、新型コロナ変異株の勢いもあり、経済活動が戻らず縮小している。商店街の空き地、空き店舗が増加の一途をたどっており、コロナ禍のうちに空き地、空き店舗の調査をして、持ち主調査、賃貸の可能性などを調べ上げ、コロナ終息後にすぐに活動ができるよう調査活動に力を注力している。

西 部 地 区⇒ 米子市の商店街では、4月上旬に発生した新型コロナ変異株によるクラスターで商業活動が大いに停滞したが、月下旬からは消費が上向き来街者が増えつつある。

境港市の水産物小売は、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置により、休業や時短営業を選択せざるを得ない状態が続いている。去年の大型連休は全面休業を行ったが、今年は通常どおり営業したものの、来客数は例年の3割程度であった。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、コロナ禍により例年より観光客は減少傾向で推移、更にまん延防止等重点措置、緊急事態宣言により、大型連休前半は低調であった。売上高は前月比で減少、前年同月比は前年がコロナ禍で8割減であったため増加した。

米子市のホテル・旅館では、関西圏での緊急事態宣言により、予約状況は低調で、前月比で売上高は減少、販売価格も低下し収益状況は悪化した。前年同月比では、去年は緊急事態宣言により大半の旅館が休業を余儀なくされていたため、売上高は増加、収益状況も好転はしている。
#WeLove 山陰キャンペーン等支援事業はあるものの、全国的な感染拡大の影響もあり思ったほどの効果は出ていない。

三朝温泉では、予約状況等一時好転していたが、関西圏の新型コロナ感染者が増加し、急ブレーキがかかっている。

大山では、コロナ禍により宿泊客は減少傾向。登山客はあるが、団体客はない。

【自動車整備業】

⇒ 新車販売は、前月比約45%減少。前年同月比は普通乗用車約24%、軽乗用車約59%、普通貨物車約20%、軽貨物車約55%、全

体では約40%増加となった。継続検査を含む中古車の前月比は約40%減少。前年同月比では、普通車が約7%、軽自動車は約4%の増加。年度初めのため新車、中古車、継続とも前月比減少となった。

【建設業】

⇒ 3月の県内公共工事発注(西日本建設業保証(株)保証取扱)は、請負金額89億円(前年同月比9%増)、件数122件(前年同月比3%減)となった。年度累計(令和2年4月～令和3年3月)でも、請負金額1,025億円(前年同月比9%減)、件数1,787件(同13%減)となった。設備投資は単月で下振れ、マイナス基調も継続。住宅建設でも単月で下振れ、3カ月平均はマイナスとなった。防災・減災工事などの土木工事を中心とした公共工事が下支えとなっているものの、一部では木材や鉄鋼などの資材価格の上昇による今後の収益圧迫が懸念されている。

3月の鳥取県新設住宅着工戸数は275戸(持家198戸、貸家77戸)で、前月比19%増加、前年同月比16%減少となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 製造業等の出荷量は生産調整などもあり横ばいで推移し、荷動きは低調な状況が続いている。復路荷物も荷動きが低調な動きとなり、空車で帰る車両もみられ非効率な運行が続いている。売上高は、前月比、前年同月比ともに減少。燃料価格は横ばいとなっているが、高値が続く経営を圧迫し厳しい状況。

西部地区⇒ 新型コロナ変異株感染は関東から全国へと拡大し、人の交流が止まるなか、物流も芳しくなく関西圏を中心に復路荷物は落ち込んでいる。3月のルネサスエレクトロニクスの火災の影響が裾野の広い自動車産業に与える影響は大きく、メーカーの工場も生産を停止し、荷主が操業停止に追い込まれるなど状況は一変、時間の経過とともに影響は拡大している。原油価格は新型コロナワクチン接種拡大で需要に対しての楽観説が主流となり、高値安定のまま展開している。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・新型コロナワクチン接種の迅速化【一般食料品製造業】
- ・防護服やマスクなど価格入札するとほとんどが海外生産となってしまうため、国内生産比率を上げてほしい。【ニット製品製造業】
- ・コロナ禍の影響は間接的に民間大型工事の延期等が見受けられ、国の予算も大型災害復旧に優先的に予算が配分されている。当県の国土強靱化推進のため、国県の予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・中止している「GoTo 商店街」プロジェクトへの対応策。【商店街】
- ・国・県・市町村の更なるコロナ対策支援をお願いしたい。【鮮魚小売業】
- ・感染の少ないエリアを限定とした「GoTo トラベル」再開。【旅館業】
- ・企業が生き残るための助成金の弾力的な支給が必要。【旅館業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2020年												2021年	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	前年との増減幅
売上高	製造業	-78.9	-78.9	-21.1	-26.3	-47.4	5.3	47.4	0.0	-10.5	-47.3	5.2	31.6	-26.3	52.6
	非製造業	-68.4	-52.6	10.5	0.0	-5.2	5.3	0.0	0.0	-10.5	-68.4	5.3	26.3	0.0	68.4
	全業種	-73.7	-65.8	-5.2	-13.2	-26.3	5.3	23.7	0.0	-10.5	-57.9	5.3	29.0	-13.1	60.6
在庫数量	製造業	0.0	-15.8	-5.3	-5.2	-10.5	-10.5	-5.3	-5.2	-10.5	5.2	0.0	5.2	10.6	10.6
	非製造業	-16.7	-8.3	0.0	-33.4	-41.7	0.0	0.0	16.6	0.0	-16.6	8.3	0.0	8.3	25.0
	全業種	-22.6	-12.9	-3.3	-16.1	-22.6	-6.5	-3.2	-9.7	-6.4	-3.2	3.2	3.2	9.7	32.3
販売価格	製造業	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	0.0	-5.2	-5.2	0.0	0.0	10.5	0.0	26.3	21.1	31.6
	非製造業	-26.3	-26.3	-21.1	-21.0	5.3	-26.3	0.0	0.0	10.6	-21.0	-15.8	-10.5	-10.5	15.8
	全業種	-18.4	-18.4	-15.8	-13.1	2.6	-15.8	-2.6	0.0	5.3	-5.3	-7.9	7.9	5.3	23.7
取引条件	製造業	-15.8	-5.3	-5.2	-10.5	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.6	10.5	10.5	26.3
	非製造業	-26.3	-21.1	-21.1	-21.1	-5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	-15.8	-10.5	-15.8	-10.5	15.8
	全業種	-21.1	-13.2	-13.2	-15.8	-2.7	2.7	0.0	0.0	0.0	-7.9	-10.5	-2.6	0.0	21.1
収益状況	製造業	-47.3	-57.9	-31.6	-21.1	-31.6	-10.5	-15.8	-10.5	-5.2	-42.1	-10.6	10.5	-26.3	21.0
	非製造業	-73.7	-57.9	-15.7	-5.3	-21.0	-21.0	0.0	0.0	-5.3	-68.4	-10.5	0.0	-20.9	52.8
	全業種	-60.6	-57.9	-23.7	-13.2	-26.3	-15.8	-7.9	-5.2	-5.2	-55.3	-10.5	5.2	-23.7	36.9
資金繰り	製造業	-42.1	-26.3	-26.3	-10.5	-5.3	10.5	0.0	5.2	0.0	-21.1	-5.3	10.5	10.2	52.3
	非製造業	-63.2	-42.1	-42.1	-36.8	-26.3	-31.6	0.0	0.0	-15.8	-36.8	-31.5	-21.1	-15.8	47.4
	全業種	-52.7	-34.2	-34.2	-23.7	-15.8	-10.5	0.0	2.7	-7.9	-28.9	-18.5	-5.3	-5.3	47.4
設備操業度	製造業	-57.9	-42.1	-21.0	-21.0	-15.8	10.6	-5.3	0.0	0.0	-42.1	-42.1	21.0	-5.3	52.6
雇用人員	製造業	-10.5	-10.5	-10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-5.3	5.3	10.5	5.2	15.7
	非製造業	-31.5	-31.6	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	-5.3	-15.8	-15.8	-15.8	5.2	-10.5	21.0
	全業種	-21.1	-21.1	-15.8	-5.3	-5.3	-5.3	-2.7	0.0	-7.9	-10.5	-5.3	7.9	-2.6	18.5
景況	製造業	-73.7	-52.6	-57.9	-47.3	-31.6	-26.3	-10.6	-15.8	-15.8	-42.1	-31.6	-10.5	-26.3	47.4
	非製造業	-78.9	-73.6	-47.4	-31.6	-15.8	-31.5	10.5	-10.5	-15.8	-57.9	-31.6	-26.3	-36.8	42.1
	全業種	-76.3	-63.2	-52.7	-39.5	-23.6	-28.9	0.0	-13.2	-15.8	-50.0	-31.5	-18.4	-31.5	44.8

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2020年												2021年	前年との増減幅
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
売上高	製造業	-78.9	-89.5	-84.2	-84.2	-89.5	-78.9	-52.4	-42.1	-73.6	-73.7	-52.6	-15.8	-10.5	68.4
	非製造業	-73.7	-63.1	-68.4	-73.6	-78.9	-47.4	-5.3	-52.7	-47.4	-52.6	-57.9	-42.1	10.5	84.2
	全業種	-76.3	-76.3	-76.3	-79.0	-84.2	-63.2	-29.0	-47.4	-60.6	-63.2	-55.2	-29.0	0.0	76.3
在庫数量	製造業	-15.8	-15.8	-10.5	-5.3	-10.6	-26.3	-26.3	0.0	-21.1	-15.8	-21.1	-15.8	10.6	26.4
	非製造業	-16.7	-33.3	-33.3	-25.0	-25.0	-16.6	0.0	-16.7	-8.3	-33.4	-33.4	-33.4	-8.3	8.4
	全業種	-16.1	-22.6	-19.4	-12.9	-16.1	-22.5	-16.1	-6.4	-16.1	-22.5	-25.8	-22.5	3.3	19.4
販売価格	製造業	-10.5	-21.1	-31.6	-26.3	-26.3	-21.0	-21.0	-21.0	-21.0	-15.8	-15.8	0.0	10.5	21.0
	非製造業	-26.3	-26.3	-15.8	-26.3	-5.3	-5.3	0.0	-10.6	-5.3	-5.3	-10.5	-26.3	-15.8	10.5
	全業種	-18.4	-23.6	-23.6	-26.3	-15.8	-13.2	-10.6	-15.8	-13.2	-10.6	-13.2	-13.1	-2.6	15.8
取引条件	製造業	-15.8	-10.5	-26.3	-21.1	-15.8	0.0	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	-5.3	0.0	10.5	26.3
	非製造業	-31.6	-36.8	-36.8	-31.6	-26.3	-26.3	-21.1	-5.2	-15.8	-10.5	-21.1	-21.1	-10.5	21.1
	全業種	-23.7	-23.7	-31.6	-26.3	-21.1	-13.2	-13.2	-5.3	-10.5	-5.3	-13.2	-10.5	0.0	23.7
収益状況	製造業	-57.9	-73.7	-73.7	-78.9	-78.9	-73.6	-63.2	-52.7	-57.9	-63.1	-52.6	-15.8	-15.8	42.1
	非製造業	-68.4	-73.6	-78.9	-78.9	-84.2	-52.7	-47.4	-36.8	-42.1	-63.1	-73.7	-31.5	-10.5	57.9
	全業種	-63.1	-73.7	-76.3	-78.9	-81.6	-63.2	-55.3	-44.7	-50.0	-63.1	-63.2	-23.7	-13.1	50.0
資金繰り	製造業	-47.4	-47.4	-52.6	-52.6	-47.4	-31.6	-36.8	-21.1	-26.3	-31.6	-36.8	-15.8	-15.8	31.6
	非製造業	-63.2	-68.4	-68.4	-63.2	-68.4	-52.6	-36.9	-26.3	-42.1	-57.9	-57.9	-42.1	-10.5	52.7
	全業種	-55.3	-57.9	-60.5	-57.9	-57.9	-42.1	-36.8	-23.7	-34.2	-44.7	-47.4	-28.9	-13.1	42.2
設備操業度	製造業	-57.9	-57.9	-57.9	-57.9	-57.9	-42.1	-42.1	-52.6	-42.1	-52.6	-52.6	-21.0	-10.5	47.4
雇用人員	製造業	-21.0	-26.3	-26.3	-26.3	-15.8	-26.3	-21.1	-15.8	-15.8	-15.8	-10.5	0.0	-5.3	15.7
	非製造業	-36.8	-42.1	-31.6	-36.8	-36.8	-26.3	-15.8	-26.3	-31.6	-31.6	-31.6	-21.0	-10.6	26.2
	全業種	-28.9	-34.2	-29.0	-31.6	-26.3	-26.3	-18.4	-21.1	-23.7	-23.7	-21.1	-10.5	-7.9	21.0
景況	製造業	-78.9	-78.9	-84.2	-84.2	-84.2	-73.7	-63.2	-57.9	-73.7	-73.7	-52.6	-26.3	-21.0	57.9
	非製造業	-78.9	-78.9	-78.9	-78.9	-84.2	-73.7	-47.4	-36.8	-52.6	-52.6	-68.4	-47.4	-31.5	47.4
	全業種	-78.9	-78.9	-81.6	-81.6	-84.2	-73.7	-55.2	-47.4	-63.2	-63.2	-60.6	-36.8	-26.3	52.6

情報連絡員報告総括表（令和3年4月分）

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向（前月比）

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
食料品	0	0	2	1	1	1	0	2	0	0	2	0	0	0	2	1	1	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1
繊維工業	0	1	2	1	1	1	0	3	0	0	3	0	0	1	2	0	2	1	0	1	2	0	3	0	0	0	1
木材・木製品	0	2	2	0	3	1	1	3	0	1	3	0	0	3	1	0	4	0	0	3	1	0	4	0	0	0	4
紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1
出版・印刷	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	1
化学ゴム																											
窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1
鉄鋼・金属	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	0	1
一般機器	1	0	2	0	3	0	0	3	0	0	3	0	1	1	1	0	3	0	0	3	0	1	2	0	0	0	2
電気機器	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0
輸送用機器																											
その他																											
19	4	6	9	4	13	2	4	15	0	2	17	0	2	10	7	2	16	1	3	12	4	2	16	1	1	12	6
100%	21.1%	31.6%	47.4%	21.1%	68.4%	10.5%	21.1%	78.9%	0.0%	10.5%	89.5%	0.0%	10.5%	52.6%	36.8%	10.5%	84.2%	5.3%	15.8%	63.2%	21.1%	10.5%	84.2%	5.3%	5.3%	63.2%	31.6%
卸売業	3	3	0	1	5	0	0	5	1	0	6	0	1	4	1	0	6	0				0	6	0	0	5	1
小売業	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
商店街	1	0	3	1	2	1	0	3	1	0	2	2	1	0	3	1	0	3				0	3	1	0	1	3
サービス業	2	0	3				0	4	1	0	5	0	2	1	2	1	3	1				0	4	1	1	1	3
建設業	1	0	0				1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
運輸業	0	0	2				0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	1	1				0	2	0	0	1	1
その他																											
19	8	3	8	2	8	1	1	15	3	0	17	2	4	7	8	2	12	5				0	17	2	1	10	8
100%	42.1%	15.8%	42.1%	16.7%	66.7%	8.3%	5.3%	78.9%	15.8%	0.0%	89.5%	10.5%	21.1%	36.8%	42.1%	10.5%	63.2%	26.3%				0.0%	89.5%	10.5%	5.3%	52.6%	42.1%
38	12	9	17	6	21	3	5	30	3	2	34	2	6	17	15	4	28	6	3	12	4	2	33	3	2	22	14
100%	31.6%	23.7%	44.7%	19.4%	67.7%	9.7%	13.2%	78.9%	7.9%	5.3%	89.5%	5.3%	15.8%	44.7%	39.5%	10.5%	73.7%	15.8%	15.8%	63.2%	21.1%	5.3%	86.8%	7.9%	5.3%	57.9%	36.8%

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

連符貝標数38石
回答数 38(100%)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製 造 業	食料品	1	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1	0	0	1	1	
	繊維工業	0	1	2	1	1	0	3	0	0	3	0	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	2	1	0	1	2	
	木材・木製品	1	2	1	0	3	1	1	3	0	1	3	0	1	2	1	0	3	1	1	3	0	0	4	0	0	4	
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	
	出版・印刷	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	
	化学ゴム																											
	窯業・土石製品	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	
	鉄鋼・金属	0	1	1	1	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	2	
	一般機器	2	0	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	2	0	1	0	3	0	0	3	0	0	2	1	2	0	1
	電気機器	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	
輸送用機器																												
その他																												
非 製 造 業	卸売業	5	7	7	4	13	2	3	15	1	2	17	0	5	6	8	2	12	5	3	11	5	2	14	3	3	9	7
	小売業	26.3%	36.8%	36.8%	21.1%	68.4%	10.5%	15.8%	78.9%	5.3%	10.5%	89.5%	0.0%	26.3%	31.6%	42.1%	10.5%	63.2%	26.3%	15.8%	57.9%	26.3%	10.5%	73.7%	15.8%	15.8%	47.4%	36.8%
	商店街	2	1	3	1	4	1	0	4	2	0	6	0	1	4	1	0	6	0				0	6	0	0	5	1
	サービス業	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	建設業	1	0	3	1	1	2	0	2	2	0	3	1	0	1	3	0	2	2				0	2	2	0	1	3
	運輸業	4	0	1				1	3	1	0	4	1	3	1	0	2	1	2				2	2	1	1	2	2
	その他	1	0	0	0			1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1				0	0	1	0	0	1
	卸売業	1	0	1				0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1				0	2	0	0	2	0
	建設業																											
	運輸業																											
その他																												
100%	19	10	1	8	2	6	3	2	12	5	0	17	2	4	8	6	2	11	6				2	13	4	1	11	7
	52.6%	5.3%	42.1%	16.7%	50.0%	25.0%	10.5%	63.2%	26.3%	0.0%	89.5%	10.5%	21.1%	42.1%	31.6%	10.5%	57.9%	31.6%				10.5%	68.4%	21.1%	5.3%	57.9%	36.8%	
	38	15	8	15	6	19	5	5	27	6	2	34	2	9	14	14	4	23	11	3	11	5	4	27	7	4	20	14
100%	39.5%	21.1%	39.5%	19.4%	61.3%	16.1%	13.2%	71.1%	15.8%	5.3%	89.5%	5.3%	23.7%	36.8%	36.8%	10.5%	60.5%	28.9%	15.8%	57.9%	26.3%	10.5%	71.1%	18.4%	10.5%	52.6%	36.8%	